



(1) 2013.4 滋賀県看護協会会員数 (平成25年3月21日現在) 保健師/269人 助産師/208人 看護師/5,995人 准看護師/217人 合計 6,689人

一番星見つけた!



平成24年度実習指導者講習を修了した67名を紹介します。

久しぶりの学生気分を味わいながら、講義やグループワークを通して、指導者として大切な姿勢、今までとは違った視点で学生さんと関わることを学びました。

それぞれの職場へと戻りましたが、共に2ヶ月間学んできた仲間がいちばん輝いています。

近江八幡市立総合医療センター 加藤 守



もくじ

一番星見つけた!	1	看護協会日誌	5
ワーク・ライフ・バランスの取り組み	2-3	「SHIGA! はたさぼ通信」	6
研修報告 災害看護(実務編)	4	医療安全通信No.11	6
第2地区支部だより	4	滋賀県ナースセンターからのお知らせ	7
第7地区支部だより	5	事務局だより	8

看護職のWLB「4か月間の取り組み発表」 フォローアップワークショップを開催しました

■ 1月21日(月) 会場:看護研修センター

参加者[参加施設から25名・一般参加40名]

済生会滋賀県病院

アクションプラン①

WLB推進体制づくり

アクションプラン②

時間外勤務時間・有給休暇使用状況の実態把握

アクションプラン③

育児・介護支援施策の充実

- ①管理会議で協力依頼、看護部、病棟課長、人事課長補佐、経営管理室長、グットジョブ委員会で推進
- ②実態から各部署で業務の見直し開始、前残業の削減、申し送りの撤廃、時間帯業務調査、簡潔なミーティング
- ③育児・介護リーフレット作成、院内保育の機能拡大要望



評価

- ☆一人一人の職員が改善に取り組むことで意識の変化と働きやすい職場環境にという職場風土が形成されつつある
- ☆職員のWLBに対する意識の定着と活動を続けていくパワーが重要

滋賀県立小児保健医療センター

アクションプラン①

WLBの取り組み内容を院内で共有する

アクションプラン②

看護業務の分析をおこない業務整理をおこなう

アクションプラン③

サービス規程、能力開発の制度などの周知

- ①看護部全体、院内全体へ現状取り組みを説明。毎月運営会議に進捗状況報告
- ②残業調査を実施し、結果分析と今後の取り組みの明確化
- ③サービス規定の整理、制度表冊子の配布
小児専門としてスキルアップできるように必要な学会・研修の調整

☆残業内容分析から問題点の抽出ができ見直しに繋がった

☆病院全体で取り組みを進めていくことが必要

☆現状を数値化、データ化・可視化し客観的評価が重要



豊郷病院

アクションプラン①

業務の見直し、業務ごとの役割分担と効率化検討

アクションプラン②

WLB推進チームの結成

アクションプラン③

インデックス調査結果とアクションプラン説明会の実施

①各勤務帯の業務洗い出し、記録、申し送りの効率化に取り組んだ。無線環境改善、申し送り基準作成、勤務表作成基準など

②看護部中心活動から病院全体の推進体制へ

③4回にわたり8割以上の看護職参加、看護補助者、クラークに対しても実施



☆記録や申し送りの改善で報・連・相が充実、良いケア実践

☆組織風土は、外から見るとよく見える。変える努力が必要

☆こつこつ目標に向かいPDCAサイクルを回し続けること

琵琶湖大橋病院

アクションプラン①

WLB推進委員会の立ち上げ

アクションプラン②

制度の周知について検討

アクションプラン③

業務改善に向けて問題点の洗い出し

①院長以下他部門の長をいれ設置、定期的に開催。推進活動をポスターで広報

②院内諸規則・指針ファイルの確認と説明会実施、分かりやすい就業規則の見直し

③聞き取り調査と他部署の職員による現場観察「おじゃまむしラウンド」を実施



☆WLBについて職員の認知度が上がり活動が浸透した

☆結果を数値化、図、グラフ化して職員へフィードバックすることが活動に繋がった

☆看護職員の要望が解り、病院全体が看護部に協力的



次年度参加の皆さんへ

- ◆取り組みはたいへんですが、自分たちの職場が良くなることを信じていくことが大切です。
- ◆パワーがあるので、持続できるよう無理な計画をたてないで、楽しみながら参加してください。
- ◆何よりも院内でのチームワークアップ、看護力になるとおもいます。頑張ってください。

研修報告

〈災害支援ナース育成研修〉 災害看護(実務編)

- 日時** 平成24年12月5日(水) 9時20分~16時30分
平成24年12月6日(木) 9時20分~16時30分
- 場所** 滋賀県看護研修センター
- 講師** 特定非営利活動法人災害看護支援機構 理事長……………山崎 達枝 先生
近江八幡市立総合医療センター 救急看護認定看護師 DMAT隊員 ……國松 秀美 先生

今年度の災害看護研修(実務編)は、定員を大幅に上回り、78名の応募がありました。災害看護への関心度の高さを考慮し、応募者全員に受講していただきました。

1日目はNPO法人災害看護支援機構理事長の山崎先生に来て頂き、模擬体験を通して避難所での暮らしからくる問題としてどんなことが考えられるのかを学びました。

2日目は近江八幡総合医療センターの國松秀美先生で、災害支援ナースの活動をロールプレイングで学習しました。受講生に「災害看護」を考える場となり、災害を意識した個々の取り組みを考える機会となりました。

両日通して言えるのは、1人で学習するのではなく、グループワークやロールプレイング等の体験型・参加型の研修をチームとして学習することは、実災害でのチームワークの礎となると感じました。また、受講生からは、2日間とも、『考える』研修であったため、災害時だけでなく、日々の臨床看護にも役立つという感想をいただきました。

滋賀県看護協会における災害支援ナースの登録者数は平成25年3月11日現在101名。登録者の方々は災害看護フォローアップ研修参加をはじめ、災害看護に対する知識・技術を維持する為に自己研鑽されています。

第2地区支部だより

癒しを求めて

まだまだ肌寒い2月2日土曜日の午後、雪積もる比良山系が一望できる草津総合病院あおばなホールに会員32名が集まりました。

昨年に引き続き、心の癒しを目的として、「心とからだにありがとう」というテーマで、横田佳子先生と渡邊由美先生を講師にお迎えしました。香り高い中国茶を頂き、アロママッサージやリップクリーム作りを行い、参加者同士の親睦を深める楽しいひと時となりました。

特に中国茶は日常の多忙な業務を一時忘れさせてくれるような爽やかな香りでした。

リップクリーム作りは、いくつかの香りから自分にあう香りを選び、まるで理科の実験のように楽しんで作りました。

さらにアロママッサージでは、ハンドマッサージの「基本のき」を学び、時間が足りないと感じるほどで、会場は癒しの香りとおんりの感に包まれました。

参加者は、やや少ない人数ではありましたが、日頃なかなか体験できないテーマでもあり、2時間という時間があっという間に過ぎ、好評に終えることができました。



第7地区支部だより

多職種連携の事例検討会

第7地区支部は会員数232名の県内で一番小さな支部です。その小さな支部の特徴を活かした「顔の見える関係づくり」を進めるために始まった事例検討会は2年が経過しました。今年度1回目は、介護老人保健施設より「頻尿による睡眠障害があり介護困難を要する一例」として事例提供がありました。病院と施設勤務の看護職が互いの職場環境が違っていても患者をとおして情報共有し看護のあり方を考えました。2回目の検討会は、「退院調整困難な事例を通して」入院中数々の問題のあった患者の退院調整から、多部門との協働の必要性を考えるテーマの事例でした。今回の事例は、入院生活上の問題、サポート体制、医療機器に関する問題など他病院や行政、地域包括支援センターの保健師との連携が必要であり、それぞれの立場での関わりを検討しました。保健所や市の保健師の参加もあり活発なディスカッションができました。



イベント報告

今年度のまちの保健室は、市民が多数集う「食と健康づくりのつどい」に参加し172名の方に来ていただきました。高校生が妊婦や高齢者を体験し、また家族連れの男性が妊婦体験され、妻に「いやあ、大変なんやね。ありがとう」とこっそりと呟いている微笑ましい光景を見させていただき、私達も癒された一日でした。当日は協会の黄色のジャンパーを着ていましたので子供たちに質問され、ちびっこから大人まで看護職の紹介や看護の魅力発信に繋がりました。



看護協会長 Mine日誌

～春告げる銀河のきらめき馬酔木の開花～

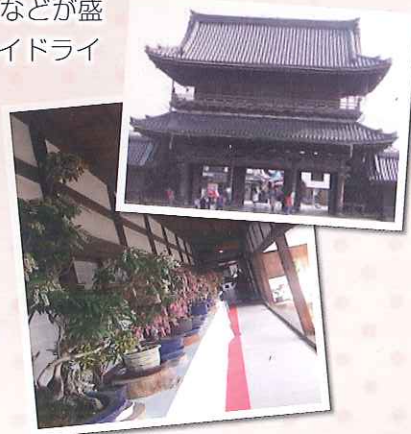
三寒四温の中、春を迎えあちこちで花便りが聞かれるようになりました。馬酔木は、春を告げる花で万葉集にも詠われるほど古くから人々に愛でられてきました。長浜の大通寺馬酔木展で早速撮影してきました。英名はジャパニーズ・アンドロメダだそうで、白い小花の連なりが銀河のきらめきを連想させるからだそうです。見事なものでした。

さて、最近の看護界のトピックスをお伝えします。一つに、看護師特定能力認証制度についてです。足掛け3年にわたり議論し活発な動きの中で3月末に結論がで出されようとしています。二つ目には、医療分野の「雇用の質」向上プロジェクトチームについて報告書が公表され都道府県知事宛てに関係6局長通知を发出されました。それぞれの看護管理者に労働環境を任せておくだけでなく、看護協会や労働局が一体となり、医師会、他団体が連携しマネージメントシステムを構築していくように進めていくことや、ナースセンターとハローワークが連携強化しマンパワー確保することなどが盛り込まれています。看護協会は「看護職の夜勤・交代制勤務に関するガイドライン」の普及、ワーク・ライフ・バランスの推進活動を進めていきます。

2012年の看護職の需給状況調査では、常勤看護師の離職率が10.9%に、新人看護師の離職率7.5%に低下しました。少しずつ職場環境も整備されてきたのかと感じています。

さて、看護協会は、4月から公益社団法人として新たなスタートを切りました。社会的認知のお墨付きとなるわけです。看護協会事業も「まちの保健室」機能を充実し県民へ健康講座などを考えています。看護職能団体として誇りと自信を持って前進していきましょう。

E-mail: kaicho@shiga-kango.jp



SHIGA! はたさぽ通信



就職相談2年目スタート

春を迎え、温かさとともに桜も開花し自然と笑顔になります。春の温もりは人を温かく包んでくれます。

さて、出張就職相談窓口が開設され早1年が過ぎました。県内8か所を巡回し、相談者は57人、就業された方19人です。非常勤から就業される方が多いですが、お一人お一人の環境を大切にしながら始められるように相談を受けています。相談窓口がまだまだ伝わっていない現状ですが、周囲に就職希望の方がおられましたらご案内をお願いします。

「求職登録」推進に向けて県内59病院を訪問させて頂きました。湖あり山あり坂ありの訪問でした。こんなエピソードがありました。カーナビの案内で車はどんどん進んで行くのですが、道は狭く林となり段々「けもの道」らしき道に突入。胸の鼓動は高まり不安満載。その後、何事もなかったように目的地へと続く道に到着、優しい顔のためぎが出迎えてくれました。各施設の看護部長様、副部長様とお出会いさせて頂き、改めて「顔の見える関係」の大切さを実感し、今後の相談に役立てていきたいと思えます。

2年目がスタートしました。今年も相談員として明るく笑顔をモットーに心がけていきます。お気軽にご相談下さい。



医療安全通信

医療安全推進委員会 vol.11

医療安全管理者養成研修を終えて

友仁山崎病院 大道 律子

このたび、初めて医療安全管理者養成研修を受講させていただきました。今年度は23項目の講義と集合研修が一日設けられ、かなり充実した内容の研修でした。eラーニングでの講義でしたので、自分のペースで行え、わからないところは何度でも繰り返し講義を受けることができました。

講義の中で私が一番印象に残った項目は「医療メディエーション」の講義です。それまでメディエーションという言葉すら聞いたことがなかったのですが、とても興味を持って聞くことができました。人間が医療を行う限り医療事故をゼロにすることは難しいことです。しかし、医療事故が起こった場合何が原因だったか、組織的にどのような対応をするべきかなど、質の高い医療を提供するためには医療安全管理者の役割は重要です。

一つでも事故の少ないまた起こりにくい環境を構築していくため、今回の研修で学んだことを臨床の場で活かしていけるよう取り組んでいきます。

医療安全管理者養成研修を終えて

市立長浜病院 服部 直美

看護局リスクナース検討会委員長として医療安全対策委員会活動に関わるようになり、安全文化についての知識を学習しようと受講しました。e-Learningなのでマイペースで実施することができたのですが、プライベート時間を利用しての学習は思うように進みませんでした。しかし4ヶ月の間に繰り返し何度でも学習できるメリットは大きく、テストやレポート作成時また現場での事例検討には講義内容を見直すことが出来ました。

医療の質と安全面から組織戦略、医薬品の管理体制、歴史や医療メディエーション、分析方法等様々な内容がありました。ヒューマンエラーや事故は0には出来ない事が前提で、安全を提供するために個人、組織が一体となり活動することの必要性を再認識できました。

集合研修では他施設の現状や医療安全という共通認識の元様々な取り組みを知る機会となり今後の活動に取り入れていきたいと思えます。

ご参加下さい

「看護フェア2013」を開催します

『5月12日は看護の日 看護の心をみんなの心に』




5月12日は看護の日

看護が私を強くする。

看護職の仕事は「生活できるまことにライフワーク、プロフェッショナルとして身につける技術や知識、かけがえない経験は「人間としてのキリ」になります。いのちを守る責任と誇りが、あなた自身の人生を充実させ、力強く生きていく力になります。

5月12日(日)～5月18日(土)は **看護週間**

www.nurse.or.jp

「看護フェア2013」のご案内



「おもい愛」-看護の心を淡海から-

平成25年
5月12日(日)
11:00～16:00

※無料です

会場 **栗東芸術文化会館 さくら**

●JR琵琶湖線 栗東駅南口より400m(徒歩5分)



カラオケセッション

(11:00～12:00)



テーマ **生活習慣病 糖尿病**

～守りましょう! あなたのからだ～

●出演者: 医師、糖尿病看護認定看護師、栄養士、母科准士 他

(13:30～15:00)

あなたの食事はこれでいい?

生活習慣病・栄養相談コーナー

育児相談コーナー

妊婦健診・赤ちゃん抱っこ体験
母乳あおほい相談

あつまれ!! プチナースに変身コーナー

めざせ看護師!!
高校生、社会人のための進学相談コーナー

看護職のお仕事相談コーナー



■主催/滋賀県(公社)滋賀県看護協会
■後援/(社)滋賀県医師会(社)滋賀県病院協会(社)滋賀県社会福祉協議会
■共催/滋賀県看護学校協議会
■お問い合わせ先/(公社)滋賀県看護協会 〒525-0032 草津市大宮二丁目1番51号 TEL.(077)564-9494

滋賀県ナースセンターからのお知らせ

ナースセンターにご登録ください (求人・求職登録の有効期限は6カ月です)



求人施設の方へ

- 職場のパソコンで求職者の簡易情報(個人情報除く)の検索ができます。
- 看護職の紹介をさせていただきます(注:派遣ではありません)
- 就職面接会等のご案内を送付させていただきます。
- 退職される看護職の方がおられましたらナースセンターへの登録をお奨めください。

看護職の方へ

- ご自宅のパソコンで求人情報の検索ができます。
- お仕事の紹介をさせていただきます(注:派遣ではありません)
- 研修や、就職面接会等のご案内を送付させていただきます。
- お知り合いで休職中の方がおられましたらナースセンターへの登録をお奨めください。

登録は、e-ナースセンターのホームページからでもできます。
インターネットを使用されない方はナースセンターへお問い合わせください。



東日本大震災被災3県での看護師不足について

東日本大震災の発災以降、被災3県において、看護職員の確保が困難な状況が続き深刻な問題となっています。被災県の看護職員確保支援のため、被災県内の医療機関等の求人情報を、特設情報としてe-ナースセンタートップページで提供しています。どうぞご利用ください。



事務局だより

受賞おめでとうございます

平成24年度公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰

堀井とよみ氏 (京都光華女子大学)

平成25年3月22日 大手町サンケイプラザ (東京) にて表彰式が行われました。



平成25年度公益社団法人滋賀県看護協会通常総会の開催について

公益社団法人に移行して初めての総会となります。

公益移行記念講演を予定していますので、積極的なご参加をお願いいたします。

詳細につきましては、4月上旬に配付のご案内やホームページでご確認ください。

日時 平成25年5月25日 (土) 10:00~15:40 (開場9:20~)

場所 ピアザ淡海 滋賀県立県民交流センター



理事会報告

第8回 平成25年1月19日

審議事項 第二副会長辞任届の受理について
推薦委員会より他の役員の推薦を受けるため、平成25年度の総会の日を以って辞任することです承された。

協議事項 1) 新公益法人の規程等の整備について
2) 常任・特別委員会、理事会合同会議結果について

第9回 平成25年2月16日

審議事項 補正予算 (案) について

協議事項 1) 新公益法人の規程等の整備について
2) 在宅ケアセンターみのりの中長期計画 (案) について
これからの少子超高齢社会に向けて、看護協会立訪問看護ステーションが果たす役割と具体的な事業展開の準備が必要であるとの確認をした。
3) 平成25年度事業計画 (案) について

第10回 平成25年3月16日

審議事項 1) 公益社団法人の規程等の制定について
今まで協議してきた33の規程等について、一括了承された。
2) 役員の退職慰労金支給基準の改正について
3) 常勤役員の月額報酬等について
4) 平成25年度通常総会の開催について
5) 平成25年度事業計画 (案) 及び収支予算 (案) について
6) 組織体制及び事務局主要人事について
7) 有価証券の買い換えについて



輝いている人・施設募集!

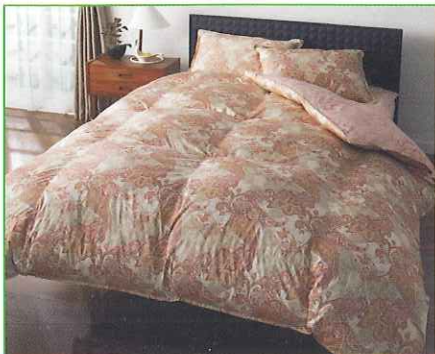
宛先 滋賀県看護協会

e-mail sigakan@gold.ocn.ne.jp

輝いている職員、施設を毎号表紙の「一番星見つけた!」に掲載します。皆さんの近くに輝く人や輝く施設はありませんか?ぜひこの機会にご紹介ください。宛先は、滋賀県看護協会に電子メールで「ナースレーク一番星見つけた!」係まで写真とアピールポイントを添えてお願い致します。



新年度を迎え、皆様気持ちを新たにスタートされたところではないでしょうか。メンバーの入れかわりなど、何かと忙しい季節ではありますが、それぞれの目標に向かい頑張りましょう。ナースレークでは、皆様の活躍を、数多く紹介したいと考えておりますので、ご協力宜しくお願いします。(K.T)



東洋羽毛は、滋賀県の看護師さんを 応援しています。

ご婚礼布団のご用命は、
東洋羽毛にご相談ください。



滋賀県看護協会推薦
TUK 東洋羽毛 0120-585-104
HP <http://www.toyoumo.co.jp>
東洋羽毛東海販売株式会社 三重営業所 〒514-0003 三重県津市桜橋3-67-13

社団法人 滋賀県看護協会 ホームページ: <http://www.shiga-kango.jp/>